



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 株式会社サカイ引越センター 上場取引所 東
コード番号 9039 URL <https://www.hikkoshi-sakai.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 哲康
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 山野 幹夫 TEL 072-244-1174
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	84,782	3.4	8,002	△9.6	8,166	△9.0	5,433	△8.6
2024年3月期第3四半期	81,992	4.6	8,851	11.4	8,978	10.6	5,942	6.7

(注) 包括利益2025年3月期第3四半期 5,474百万円 (△8.9%) 2024年3月期第3四半期 6,011百万円 (7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	133.62	—
2024年3月期第3四半期	146.16	—

(注) 1. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	112,093	92,614	82.6
2024年3月期	120,811	89,312	73.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 92,579百万円 2024年3月期 89,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	38.00	—
2025年3月期	—	15.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	59.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年3月期の年間配当金合計については、株式分割の実施により単純合算ができないため、「—」と記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,396	3.0	12,943	1.6	13,122	1.7	8,501	1.7	209.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 株式会社サカイパングロジ、除外 1社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	42,324,000株	2024年3月期	42,324,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,664,272株	2024年3月期	1,664,272株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	40,659,728株	2024年3月期3Q	40,659,728株

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(会計方針の変更に関する注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(連結範囲の重要な変更)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかに持ち直していくことが期待されるものの、アメリカの今後の政策動向による影響や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う景気の減速など、先行き不透明な状況が続いております。

引越業界においても、新設住宅着工戸数や移動者数が微減しており、厳しい状況が続いております。

この様な状況の下、当社グループは、外注費などのコストの増加に対応した価格転嫁に努め、引越単価は前年同四半期比3.5%増となりました。また2024年4月から適用が開始されたトラックドライバーの時間外労働の上限規制を遵守するため、労働時間をコントロールしたことにより作業件数は599,721件（前年同四半期比1.5%減）となりました。

第1四半期連結会計期間から株式会社サカイバンダロジを連結の範囲に含めた結果、売上高は84,782百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益8,002百万円（前年同四半期比9.6%減）、経常利益8,166百万円（前年同四半期比9.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,433百万円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

電気工事業及びリユース事業においては、引越事業が好調に推移した影響をうけ、引越付随事業の業績が伸びたことから売上高、利益共に好調でした。一方、クリーンサービス事業においては人件費等の上昇により利益が前年同四半期比を下回りました。

報告セグメント	売上高（百万円）	前期比（%）	セグメント利益（百万円）	前期比（%）
引越事業	71,362	103.0	6,737	88.2
電気工事業	3,588	101.8	608	105.3
クリーンサービス事業	4,127	102.9	400	96.7
リユース事業	5,187	110.0	90	140.9
その他	517	105.9	429	116.7
調整額	—	—	△100	—
合計	84,782	103.4	8,166	91.0

（注1）その他の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

（注2）セグメント利益の調整額△100百万円はセグメント間取引消去等であります。

（注3）セグメント利益の合計は、連結財務諸表の経常利益と調整しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は32,329百万円となり、前連結会計年度末と比較し9,661百万円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が6,303百万円減少、現金及び預金が3,103百万円減少したことによるものであります。固定資産は79,764百万円となり、前連結会計年度末と比較し943百万円増加いたしました。これは主に土地の1,095百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は112,093百万円となり、前連結会計年度末と比較し8,718百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は15,280百万円となり、前連結会計年度末と比較し11,919百万円減少いたしました。これは主に買掛金が3,555百万円減少、未払法人税等が2,406百万円減少、流動負債その他に含まれる未払費用が1,877百万円減少、前受金が1,868百万円減少したことによるものであります。固定負債は4,198百万円となり、前連結会計年度末と比較し101百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の156百万円の増加があったものの、固定負債その他に含まれる長期未払金が226百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は19,478百万円となり、前連結会計年度末と比較し12,021百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、92,614百万円となり、前連結会計年度末と比較し3,302百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の3,225百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年5月8日公表の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,539	26,436
受取手形、売掛金及び契約資産	9,781	3,478
商品	1,320	1,210
その他	1,362	1,221
貸倒引当金	△12	△17
流動資産合計	41,991	32,329
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,790	10,799
土地	56,763	57,858
リース資産（純額）	798	760
その他（純額）	2,081	1,924
有形固定資産合計	70,434	71,343
無形固定資産		
のれん	85	59
その他	328	460
無形固定資産合計	413	520
投資その他の資産		
その他	7,982	7,910
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,972	7,900
固定資産合計	78,820	79,764
資産合計	120,811	112,093
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,881	3,326
短期借入金	1,700	1,700
1年内返済予定の長期借入金	1,087	737
リース債務	354	360
未払法人税等	2,763	357
前受金	3,490	1,622
賞与引当金	852	250
その他	10,069	6,926
流動負債合計	27,199	15,280
固定負債		
長期借入金	1,358	1,514
リース債務	449	409
退職給付に係る負債	41	45
資産除去債務	56	56
その他	2,394	2,172
固定負債合計	4,300	4,198
負債合計	31,499	19,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,731	4,731
資本剰余金	4,949	4,949
利益剰余金	83,487	86,713
自己株式	△3,814	△3,814
株主資本合計	89,354	92,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	366	408
土地再評価差額金	△409	△409
その他の包括利益累計額合計	△42	△1
新株予約権	—	35
純資産合計	89,312	92,614
負債純資産合計	120,811	112,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	81,992	84,782
売上原価	50,393	52,814
売上総利益	31,599	31,967
販売費及び一般管理費	22,748	23,965
営業利益	8,851	8,002
営業外収益		
受取利息	4	22
受取配当金	19	34
受取手数料	32	30
受取保険金	27	28
その他	115	135
営業外収益合計	199	251
営業外費用		
支払利息	11	19
持分法による投資損失	54	66
その他	6	0
営業外費用合計	72	87
経常利益	8,978	8,166
特別利益		
固定資産売却益	41	36
その他	—	0
特別利益合計	41	36
特別損失		
固定資産処分損	10	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	9,009	8,203
法人税、住民税及び事業税	2,337	1,870
法人税等調整額	729	899
法人税等合計	3,067	2,769
四半期純利益	5,942	5,433
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,942	5,433

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	5,942	5,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	39
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2
その他の包括利益合計	68	41
四半期包括利益	6,011	5,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,011	5,474
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社サカイパンドロジの重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,033百万円	1,329百万円
のれんの償却額	25	25

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	引越事業	電気工事 事業	クリーン サービス 事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	69,252	3,523	4,010	4,717	81,504	488	81,992	—	81,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	2,602	42	33	2,679	63	2,743	△2,743	—
計	69,254	6,125	4,052	4,751	84,184	552	84,736	△2,743	81,992
セグメント利益	7,635	578	413	64	8,691	367	9,059	△81	8,978

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△81百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	引越事業	電気工事 事業	クリーン サービス 事業	リユース 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	71,362	3,588	4,127	5,187	84,265	517	84,782	—	84,782
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	2,797	117	34	3,038	96	3,135	△3,135	—
計	71,451	6,385	4,245	5,222	87,304	613	87,917	△3,135	84,782
セグメント利益	6,737	608	400	90	7,837	429	8,266	△100	8,166

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△100百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。